

# 深良隧道定期点検に参加

河川管理レポート(H29.4.11)  
沼津河川国道事務所

4月11日に春の深良隧道点検(東京電力)に参加しました。例年春と秋の年に2回点検を行っております。深良隧道は、江戸時代(340年前)に当時の深良村(現裾野市深良地区)に水を供給するため3年半をかけ掘られました。精密な測量機器がない時代、いかにして峠の両側からトンネルを掘って見事貫通させたのか、はっきりしたことは謎です。多くの参加者による目視点検で、問題がないことが確認できました。



手彫りの隧道内は、真っ暗で、コウモリが飛び交う中懐中電灯と杖だけを頼りに約1時間歩きます。

手彫りの跡が見られました。